

ブリティッシュ・カウンシル 主催 英語教育セミナー
 ”Meeting Students’ Needs and Developing Critical Thinking”

2013年11月

講師: Olha Madylus (教員指導コンサルタント、CELTA & CELTYL, コースディレクター他)

今回のセミナーでは、英国から「Young Learnerの英語教育専門家」をお招きし、理論とともに教室で実践できる活動について取り上げました。

教員がほんの少し考え方や指導法を変えるだけで、英語の時間に大きな変化をもたらすことができます。生徒一人ひとり異なるニーズや能力をもっており、教室にいる“すべて”の生徒が、高いモチベーションをもって学習に励むように支援することは容易いことではありません。

今回は、生徒のニーズや関心に焦点を当てるとともに、生徒のモチベーションや学習能力に直接影響を与える、様々な事項(社会的、感情的、個人的等)について取り扱いました。例えば、学習スピード、自信やグループダイナミクス(集団力学)についても考える必要があります。また、批判的な思考力(クリティカル・シンキング)は生徒のニーズとどのように関連しているのでしょうか。考えることは、学ぶことと同様、基本的なニーズのひとつです。考えることについて、生徒から「つまらない」とか「関心がない」という声も聞かれますが、本当にそうでしょうか。生徒は考える機会を与えられていないだけかもしれません。

2時間のセミナーは4つのアクティビティを交えて行われました。それぞれのアクティビティを通し、教員の考え方や指導法について講義内容をご紹介します。セミナーは講師の簡単な自己紹介から始まりました。最初のアクティビティ1は自己紹介について、その後、「アクティビティ活動は生徒の言語練習、言語発達になぜ役立つのか」「アクティビティ活動はどうあるべきか」等についての講義がありました。続いて、アクティビティ2は、生徒の創造性を生かし、考えること、何度も読むことを促すもの、アクティビティ3は単語を使った文章をグループで作るものでした。(アクティビティ4は省略)その後、「2013年の学校の状況」「Critical thinker (批判的思考ができる人)とはどのような人か」の講義があり、最後の質疑応答へと続きます。

Activity 1 - 自己紹介のアクティビティ

A fruit

A vegetable

A number between 1 and 200

The answer to – ‘Are you a teacher?’

Your favourite film star

How many pairs of shoes do you have?



1. First name
2. Family name
3. Age
4. Are you married?
5. Spouse
6. Children



まず、紙とペンを用意し、左にある質問の答えを6つ書いてください。(全員が記入するのを確かめる)

右側のスライド2を見てください。あなたが記入したものは、ここにある質問の答えとなります。

次に、それぞれの質問の仕方について確認しましょう。What’s your name? How old are you? Are you married? Who are you married to? Who is your spouse? How many children do you have? それでは、各自の答えをもって、クラスの中にある最低3人と自己紹介をしましょう。制限時間は4分です。それでは、始めましょう。

アクティビティ活動が生徒の言語練習、言語発達に役立つ理由

このような種類のアクティビティ活動は、生徒の言語練習、言語発達になぜ役立つのでしょうか。

それはまず、「楽しいのでモチベーションがあがること」 - なぜ楽しいかという相手の答えを知らないからです。このアクティビティでは驚くような答えや面白い答えを聞くことができます。同じクラスの生徒達はお互いのことをほとんど知っています。既に知っている情報を聞き出す質問の繰り返しは実践的とは言えず、良い学習方法だとは言えません。質問の内容、準備する答えにも工夫が必要です。

次に、「同じフレーズの練習を何度もできること」 - 何度も何度も同じフレーズを使うことで、英語学習の助けとなるだけでなく、英語を使う自信をつけることができます。

「生徒が自分自身にならなくて良いこと」 - 彼らは自分をさらけ出したくないと考えています。その点、このアクティビティでは他人を演じることができ、かつ、楽しいので生徒はリラックスしながら取り組むことができます。

アクティビティ活動はどうあるべきか

次に、授業内でのアクティビティ活動はどうあるべきかについてご説明します。

はじめに「活動が楽しいということ」です。楽しい授業を受けると生徒のモチベーションが上がります。学ぶことは楽しくあるべきであり、退屈な授業ではやる気が起こりません。

このアクティビティの良いところは「言語要素を多く含んでいること」です。授業の準備の為に黒板へ単語を書く必要

はなく、生徒にフルーツや野菜、家具やスポーツを書かせ、同時にスペルもチェックをすればよいのです。英文法の中で複雑なものひとつが疑問形です。質問によって使う疑問詞が異なると生徒は複雑に感じますが、「文法を繰り返し練習すること」で記憶をする助けとなります。私は生徒の前で会話の見本を見せ、相手と「握手」をして「アイコンタクト」をしました。そして、教室内での活動で生徒に同じようにするよう促しています。

次に、「からだを動かし学習すること」です。1日中座って授業を受けることを考えてみてください。生徒は眠くなりとても退屈です。立ちあがり動くことで目が覚め、笑いも生まれます。そして、「他の生徒と話すこと」で人間関係を築くこともできます。生徒中心の授業にすることがとても大事なのです。教員が授業時間すべてを使って話したり、説明したりすると生徒の思考は停止してしまいます。

言語学習において、リスニング、ライティング、スピーキング、リーディングなど様々なスキルを学びますが、一番大切なことは「生徒が考えること」です。生徒が考えていないということは、学んでいないことと同じです。機械的に物事をこなしているだけでは、学んでいるとは言えません。生徒が何を言い、何を聞いているのかに注意を払う必要があります。

また、言語学習とは「記憶すること」です。現在形についてきちんと記憶していないと、知っているとは言えません。このアクティビティの良いところは数週間たっても生徒の記憶に残ることです。そして最後に、このセクションで一番大切なことは「生徒たち全員に考えさせること」です。

The activity:

Fun = motivating

Practising grammar, vocabulary, communication skills

Kinaesthetic, interpersonal

Listening, Writing, Speaking

Memorable



生徒の異なる側面

続いて、生徒についてです。生徒は一人ひとり異なります。

まず、「性別」についてです。興味深いことに、男子と女子では授業中とても異なる態度をしています。例えば、14歳の生徒だと、女子はとても成熟していて繊細です。もちろん例外もありますが、男子はまだ幼くふざけることもあります。

また、すべての生徒が同じ「モチベーション」で授業を受けているわけではありません。ある生徒は英語が好きで、ある生徒は英語の音が好き、という風に生徒それぞれ違います。

次に「授業態度」と「学習スタイル」です。ある人はすべてを書くことによって学習し、またある人は何度も何度も聞いて学習します。歩きながら何度も声に出して学ぶ人もいますし、触れながら感覚的に学習する人もいます。学習スタイルの違いはとても重要なことです。同じように教えても生徒によって吸収の仕方が違うのです。

そして、生徒達は様々な「バックグラウンド」を持っています。両親について、お金のことについて、学校に関係ないこともあります。もし生徒の両親に何か問題があった場合、英語への学習態度は変わるに違いありません。宗教上や文化によっても異なります。

また普段の生活で「英語に触れる機会」があるかどうか両親に関係しているかもしれません。両親に英語を話す友人がいたら、英語に触れる機会が増えるでしょう。子ども自身にしても、英語の音楽や歌が好きだったら自分で英語に触れる機会をつくっていることになります。

次に、「自信」があるかどうかとても大切なことです。生徒によっては何か発言したくても自信が持てず、話せそうになったところで授業が終わってしまう経験をしている子もいるでしょう。賢い生徒であっても自信が持てないこともあるのです。

「国籍や趣味」についても生徒によって異なります。生徒の中には日本国籍ではない、もしくはハーフ(ダブル)で両親が英語を話すバイリンガルの生徒もいるでしょう。国際化の進む今日では多くみられることかもしれません。言語を趣味のひとつとしている生徒もいるので、そこでも違いが出ます。

また、何かを学ぶ際に、私達には「好み」があります。ただ教えるだけでなく、生徒の異なる側面について考えることはとても重要なことです。異なるモチベーションを持つ生徒、学習スタイルの異なる生徒が教室にはたくさんいるのです。

最後に「快適であるか」どうか大切なことです。それは、ある生徒にとって立ち上がって大きな声で発表することはたやすいことであっても、ある生徒はそれを快適に思わないということです。

この写真は100年前のもので、この頃の教師は生徒にどのように接していたのでしょうか。当時はとても厳しく体罰が行われていました。生徒の好みを考えておらず、すべての生徒が同じであると考えられていました。

Students are all different

- Gender
- Motivation
- Attitude
- Learning style
- Background
- Exposure
- Confidence
- Comfort zone






約 160 年前、チャールズ・ディッケンズはこの本を執筆しました。「生徒へ事実に基づく情報のみが必要である」というこの文章を今でも信じている教師は、驚くべきことに、世界中でいまだに多くいます。多くの違いを持つすべての生徒にこれで良いとは言えません。彼らは将来どんな仕事に就きたいのでしょうか。生徒達は将来したいことも異なります。ただ事実を教えるだけでは、彼らの将来に役に立つとは言えません。

"NOW, what I want is, Facts. Teach these boys and girls nothing but Facts. Facts alone are wanted in life. Plant nothing else, and root out everything else. You can only form the minds of reasoning animals upon Facts: nothing else will ever be of any service to them."

Charles Dickens, *Hard Times*, 1854

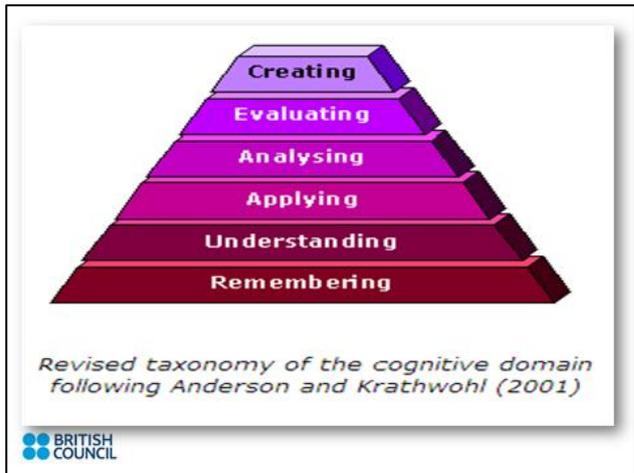


批判的思考(クリティカル・シンキング)

これはベンジャミン・ブルームの提唱した批判的思考(クリティカル・シンキング)の6段階モデルです。

第 1 ステージは暗記をすることです。暗記をすることには事実だけが必要で、繰り返すことが求められます。

第 2 ステージは理解をすることです。得た情報を理解することには意味があります。生徒達が「What's your name?」と質問をするのはただ繰り返しているだけではなく、理解をしているのです。その後、学んだことを適用、分析、評価し、何かを創っていくという流れが基本的な批判的思考のスキルです。



批判的思考は現在、世界中の学校のカリキュラムで重要とされています。多くの国において、若い学習者にとって重要だと言われていることは共通していました。論文では小学校～大学において、教育のどの段階の生徒でも思考スキルを発達させることが重要だと述べています。今日では世界中で多くの新しいことが生まれています。生徒にとって過去のことをただ記憶するだけではなく、未来に何が起るかを考えるスキルを磨くことが重要なのです。生徒達へ好奇心の持ち方を教える必要はありません。なぜなら、子どもは生まれながらに好奇心を持ち合わせているからです。

UK National Curriculum Report, 1988, lists the following attitudes as 'important at all stages of education':

- Curiosity
- Respect for evidence
- Willingness to tolerate uncertainty
- Critical reflection**
- Perseverance
- Creativity and inventiveness**
- Open-mindedness
- Co-operation with others

John Holt – Natural Learning Style

The child is curious... wants to make sense of things... is open and receptive... experimental.. bold... not afraid of making mistakes... is patient... can tolerate an extraordinary amount of uncertainty, confusion, ignorance and suspense..

ジョン・ホルトは子どもがどう学び、どう間違えるかについて二冊の重要な本を書きました。自然学習能力とは人が生まれながらにもっている学習能力です。私達は理解したいものにも興味を持ちます。子どもは様々なことを理解しようとしています、そして間違いを恐れません。不確実なことや困惑に耐えることができるのです。

ある研究では多くの親に協力してもらい、3歳児が1日にどのくらい質問をしたかを調べました。その結果、子どもは1日に470個もの質問をしたということがわかりました。質問の代表例は "Why is the sea wet?" というものです。

さらにあるイギリスの研究者は、幼稚園で子どもはいくつ質問するのかを調べました。家では400以上の質問をしていた子どもたちは、幼稚園でいくつ質問をしていたのでしょうか。正解は6つです。

調査の結果、子ども達にとって学校は質問をする場所ではないと感じていることがわかりました。教員がしてほしいのは質問ではなく、先生が出す問いに答えることだと子どもたちは理解しているのです。ですが、質問をせずに子どもたちはどのように学んでいるのでしょうか、これはとても興味深い結果です。

子どもはとても実験的に学習します。



生徒が学ぶ為に必要な事

生徒が学ぶ為に必要なことについていくつかご説明いたします。

まず、生徒達に必要なことは質問をすることです。教員は生徒が考えることのできる状況をつくらなくてはなりません。彼らは学ぶために質問をしなくてはならないですし、質問をしたいと考えているでしょう。また、学ぶためにアクティビティをする必要があります。生徒を退屈させるような授業をしてはいけません。

コミュニケーションをとりながら学ぶこともとても大切なことです。

もし「好きなスポーツチームについて」というお題で話さないと言われたとしましょう。スポーツチームについて知識がなければ、話に参加することが出来ません。知らない内容でコミュニケーションをとるのはとても難しいことです。コミュニケーションは、なにかに基づいて行うことが有効です。教員は生徒がうまくコミュニケーションをとれるように手助けをしてあげる必要があります。

またクラスの中で安心して失敗ができる状況にしておくことも重要です。すべての学習に失敗はつきものです。多くの学習者は間違える可能性があります。脳は経験を通して学んでいくので、挑戦することを恐れさせてはいけません。

Students need to

- ask questions
- be engaged
- communicate
- take risks / feel safe
- experiment
- create
- be challenged



BRITISH COUNCIL

Activity 2 – 創造性をいかす

Mr Monsty, the monster

He has a big, blue square head and four small pink eyes. His hair is curly and green. He's got one brown arm and three purple legs and an orange body.

How many eyes does Mr Monsty have?




それでは、授業ですぐに使えるようなアクティビティを紹介いたします。

まず左の文章を読んでください。文章の中に答えが書いてあるものをそのまま質問にしても面白くないので、文章をもとに絵を描かせます。生徒はモンスターを描き上げるために情報を読み取る必要があります、さらに絵を描くことにより生徒は創造します。課題を変えるだけで生徒が考え、絵を描く過程をみることができるのです。絵を描きながら、生徒は自分の頭で考えます。与えられた文章を何度も繰り返し読むこともこのアクティビティの利点です。

Activity 3 – グループで文章を作る

次のアクティビティは、ここにある単語のうち2つ以上を選んで文章を作るものです。

グループになって単語をつなぎ合わせて文章を作ります。このアクティビティの良い点はグループで答えを考え出すことです。ひとりでやらせたら、緊張するかもしれませんが、誰かと笑い、コミュニケーションをとりながら行うことで心配せずに取り組みます。

また、正しい文章になっているか考えることができます。正しい文章でも、間違った文章でも他の人と違う文章を作ろうとしたでしょうか。生徒のやる気を引き出すために多くの答えを用意しておくといよいでしょう。そうすると生徒は積極的に取り組みます。また、単語をディクテーションさせてから始めてもいいかもしれません。単語は単元などに応じて変えるとよいでしょう。

Make a sentence

**teenagers parents radio
cows coffee politics a in
on an to we their I sexy
green fat rich quickly dancing
is eat was say think**



Activity 4 (アクティビティ4については、省略)

ミハリイはアメリカを拠点に活動している教育分野の教授です。彼は生徒がアクティビティに熱中し、なかなかやめようとしなないことは学習においてとても大切なことであると述べています。これは人生においても重要なことです。挑戦することにより自分のスキルを用いて、集中しながら満足感を得ることもできます。生徒が意識を向けるので、学ぶ場としてとても優れています。

Flow

... a high-challenge, high-skill situation, accompanied by feelings of concentration, creativity and satisfaction

Mihaly Csikszentmihalyi



2013年の学校の状況

あなたの生徒は学校が好きですか？

多くの生徒は学校ではストレスがたまると答えています。日本の生徒は学校でストレスを感じているでしょうか。ストレスの原因は特にテストや学習内容のようです。多くの生徒が学習に意味を見出せずに、学校のテストは必要ないと考えているのが現状です。多くの生徒は自分を馬鹿だと感じています。テストでいい点を取れないから、学校ではうまくできないと彼らは言います。うまく出来ないことを嫌いになるのは人間の心理です。また多くの生徒は学校の勉強が将来の仕事につながるものだと感じていません。学習することを楽しんでいません。これは大きな問題です、勉強することが楽しくなければ、どのようにして学ぶのでしょうか。

Gertrude Markowitz は、退学する生徒は私たちが十分な事実を与えないからではなく、学んでいることに対し意味を見出せずにやめていくと述べています。

In 2013 school isn't working!

In the UK school children are
stressed
particularly by pressure to succeed academically /
exams
lack confidence – are in a 'failure cycle'
feel school is not preparing them for real life
don't enjoy learning

 BRITISH COUNCIL

Dropouts don't leave school
because we don't give them
enough facts, but because they
don't find any meaning in them

Gertrude Moskowitz, 1978

 BRITISH COUNCIL

Critical thinker (批判的思考ができる人)とはどのような人か

最後に、批判的思考(クリティカルシンキング)についてのまとめをします。

Critical thinker (批判的思考ができる人)とはどのような人でしょうか。

Critical thinker とは質問し、情報を精査し、その情報をもとに結論を導き出す人のことです。今回、この一連の流れはアクティビティで行いました。生徒達は視野を広く持ち、教室でただ座っているだけではなく、コミュニケーションが必要です。お互いに耳を傾け、学ぶことが重要なのです。今回学んだようなアクティビティをすることが批判的思考になります。生徒に問題を与え、考えさせる機会を設けることが大切なのです。

A well-cultivated critical thinker

- Raises questions
- Assesses information
- Concludes and tests
- Thinks with an open mind
- Communicates effectively

Foundation for Critical Thinking (criticalthinking.org)

 BRITISH COUNCIL

セミナーについての質疑応答

参加者: なにか、短いアクティビティはありますか？

Olha: アクティビティは時間のかかるものばかりではありません。アクティビティをつくるのに 10 時間もかける必要はありません。短く簡単にできるものもたくさんあります。ディクテーションをさせるのもいいかもしれませんね。15 語ほどディクテーションした後、その単語だけで文章をつくらせます。また、インターネットに多くの教材があり、無料でダウンロードやコピーができます。ブリティッシュ・カウンシルや BBC のウェブサイトを見てみてください。若い先生達は週末の全てを使ってたった 4 分のアクティビティをつくったりしますが、インターネットで良い教材を探す方法を知る方が私は良いと思います。

参加者: おすすめのウェブサイトはありますか？

Olha: たくさんあります。いくつか紹介しましょう。

"One stop English" www.onestopenglish.com これはとても良いサイトです。たくさんのレスンプランが載っています。2 つにレベル分けされていて、無料と有料のものがあります。

"Learn English Teens (British Council website)" www.britishcouncil.org/learnenglishteens こちらのサイトにも多くの教材があります。

教師のためだけでなく生徒が使えるウェブサイトもあるので教えてあげるといいかもしれません。生徒がプレゼンテーションを作れるもの、録音できるもの、アニメが作れるような楽しいサイトもあります。宿題の現状を知っていますか？生徒達は授業開始 2 分前に答えを写し合っており、それは生徒のためになりません。より面白い宿題を出せば、ウェブサイトを使って生徒は楽しみながら学習ができます。

参加者: 子どもはテレビゲームやコンピューターの影響で授業に興味を持てないという話がありますが、それは本当だと思いますか？

Olha: いいえ、私はそうは思いません。生徒が授業に興味を持てないことについての言い訳は数多く考えられますが、私はただ授業がつまらないだけだと思います。私は最新技術を用いることに賛成ですし、紙を用いた授業も多様性があると思います。教師の中には授業で iPad だけを使うという人もいます。それも同様に退屈に感じるはずです。私は多様に組み合わせることが大切だと思います。

デビス教授はメールについて面白い研究結果を述べています。子どもはライティングを正しく学んでいないと言われていました。しかし、彼が 1000 通を超えるメールを調査したところ、その考えは間違いだったのです。子どもはメールを通してライティングの技術を向上させていました。なぜならたくさんのメールを打つからです。昔は電話で友人と話をしたりしたのですが、今、連絡はメールで取ります。彼は 10 代の若者は多くの文章を読み、書いていると述べたのです。

生徒は学びたいと思っています。もし生徒がテクノロジーの影響で集中できなったり、怠惰になったと、私があることがあれば、それは自分に対する言い訳でしかありません。私の仕事は生徒に興味を持たせることです。十代の生徒と授業でこのアクティビティをすると生徒達は授業時間が終わっても辞めようとしません。授業でどのようなことをしたいか彼らに聞いていますか？このような質問が足りないのではないかと私は考えます。生徒はもっとこのようなアクティビティをしたいと考えています。このようなアクティビティは彼らの考える力を養うとても良い方法です。

(完)